

少数台数のリコール届出の公表について (平成30年10月分)
--------------------------------

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成30年10月は11件の届出がありましたので、公表します。

## 1. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月4日	4341	車名：三菱 型式：TPG-FEB80 改 通称名：ふそうキャンター	28	平成30年2月26日～ 平成30年3月8日
不具合の部位等	電気自動車の小型トラックにおいて、高電圧バッテリーから電力を供給するパワーディストリビューションユニット内の基板を取付けているボルトの締め付けが不適切なため、走行中の振動等により当該ボルトが緩むことがある。そのため、当該ボルトの締結部の抵抗が増大し高温となり、最悪の場合、パワーディストリビューションユニット内部部品から発火して火災に至るおそれがある。			

## 2. 届出者：プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
10月10日	外 2734	車名：シトロエン 型式：ABA-B85G01 他 通称名：DS5	53	平成28年8月26日～ 平成29年1月10日
不具合の部位等	サスペンション（フロント、リア）、ブレーキキャリパ（フロント、リア）、フロントサブフレーム、リアクロスメンバー、アンダーボディーデフレクターの取付けボルト等において、締め付け工具のトルク設定が不適切なため、締め付けトルクが不足しているものがある。そのため、走行振動等により当該部位が緩み、異音が発生し、最悪の場合、走行安定性、制動能力が失われるおそれがある。また、ボルト等が脱落した場合は他の交通に影響を及ぼすおそれがある。			

3. 届出者：プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月10日	外 2735	車 名：プジョー 型 式：ABA-A9HN01 通称名：208	1	平成29年8月14日
不具合の部位等	<p>①フロントサスペンションのロアアームボールジョイントナットおよびステアリングラックボールジョイントナットにおいて、締め付け作業が不適切なため、締め付けトルクが不足しているものがある。そのため、走行振動および舵取り操作により当該ナットが緩み、最悪の場合、ナットが外れてハンドル操作ができなくなるおそれがある。</p> <p>②フロントドライブシャフトの取り付けナットにおいて、カシメ作業が行われていないためにフロントドライブシャフトナットが緩むものがある。そのため、走行振動等により当該ナットが緩み、最悪の場合、アライメントが変化して走行安定性が損なわれるおそれがある。</p>			

4. 届出者：ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月12日	外 2729	車 名：キャデラック 型 式：不明 通称名：エスカレード	87	平成27年1月8日～ 平成27年10月20日
不具合の部位等	<p>電動パワーステアリングを制御するコントロールユニットの制御プログラムが不適切なため、低速旋回時に電動モーターに高負荷がかかると電動パワーステアリングの機能が停止することがある。そのため、警告灯が点灯し、ステアリングの操作力が増大するおそれがある。</p>			

5. 届出者：FCAジャパン株式会

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月12日	外 2736	車 名：ジープ 型 式：ABA-KL32L 通称名：チェロキー	3	平成30年1月18日～ 平成30年2月14日
不具合の部位等	<p>ドライブシャフトの右フロントハーフシャフトにおいて、ホイール側ジョイント部に使用されているベアリングケージの熱処理工程が不適切なため、硬度が不足しているものがある。そのため、使用過程においてベアリングケージが歪み、異音が発生し、最悪の場合、当該ケージが破損して、走行できなくなるおそれがある。</p>			

6. 届出者：日本フルハーフ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月15日	4347	車名：フルハーフ 型式：DFPDF342CN 他 通称名：－	78	平成29年2月20日～ 平成30年6月4日
不具合の部位等	セミトレーラの走行装置において、アクスルブラケットと車軸の溶接施工が不適切なため、走行時の振動等により、溶接部に亀裂が発生するものがある。そのため、溶接が剥がれ、そのままの状態で使用を続けると、車軸を固定しているUボルトが緩み、最悪の場合、車軸がずれ、走行安定性を損なうおそれがある。			

7. 届出者：日本フルハーフ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月15日	4348	車名：フルハーフ 型式：DFPFH341A 改 他 通称名：－	41	平成29年3月20日～ 平成30年3月15日
不具合の部位等	車軸自動昇降装置を装着したセミトレーラにおいて、設計部門から製造部門への指示が不適切なため、車軸昇降用ベローズへ供給するエア圧の減圧弁が取り付けられていない。そのため、設計値を超えるエア圧が車軸昇降用ベローズへ供給され、車軸昇降用ベローズブラケット溶接部に過負荷がかかり、当該溶接部が破断し、車軸自動昇降装置が作動しなくなるおそれがある。また、最悪の場合、破断した車軸昇降用ベローズブラケットが制動用エアタンクに干渉すると、損傷を与えるおそれがある。			

8. 届出者：株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月17日	4343	車名：TMT 型式：QDF-GUN125 通称名：ハイラックス	24	平成29年10月1日～ 平成30年8月8日
不具合の部位等	オーバーフエンダーを架装した車両において、設計時の法規適合確認が不十分なため、車幅灯の取付位置が保安基準第34条に定める要件を満足しないおそれがある。			

9. 届出者：ニボル・レーシング・ジャパン合同会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月19日	外 2742	車 名：BMWアルピナ 型 式：ADC-3N1A 通称名：D3 ビ・ターボ 他	70	平成21年8月19日～ 平成22年9月22日
不具合の部位等	車両の電装部品へ電力を供給するパワーディストリビューションボックスとバッテリーを接続するバッテリープラスケーブルにおいて、接続部分のコネクターのメッキ及び構造が不適切なため、車両振動によって発生する腐食により接触抵抗が増大するものがある。そのため、当該ボックスから電装部品へ十分な電力を供給できず、最悪の場合、走行中にエンジンが停止するおそれがある。			

10. 届出者：いすゞ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
10月30日	4360	車 名：いすゞ 型 式：QFG-CYJ78B 他 通称名：ギガ	12	平成28年1月13日～ 平成30年6月29日
不具合の部位等	圧縮天然ガス（CNG）エンジンを搭載した大型トラックにおいて、燃料配管に装着した主止弁の材質が不適切なため、融雪剤など塩素を含んだ水分が付着すると、主止弁に亀裂が生じることがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進展し、燃料が漏れるおそれがある。			

11. 届出者：UDトラックス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
10月30日	4365	車 名：UDトラックス 型 式：2DG-CF5AL 他 通称名：クオン	31	平成30年5月9日～ 平成30年6月8日
不具合の部位等	大型総輪駆動車の冷却装置において、ラジエータ冷却ファンと締結するファンハブに取付けたスタッドボルトの締付け方法が不適切なため、当該ハブのスタッドボルト挿入部に亀裂が発生し緩むものがある。そのため、冷却ファンが回転振れし当該ハブ固定部のウォーターポンプハウジングに負荷が掛かりウォーターポンプハウジングが破断すると、冷却ファンと一体でラジエータ側へ脱落して、最悪の場合、ラジエータコアが損傷し冷却水漏れにより走行不能、または、ウォーターポンプハウジングの一部破片が路上に落下するおそれがある。			

【参考】

●平成30年10月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	20(+2)	14(±0)	6(+2)
輸入車	16(+1)	11(±0)	5(+1)
計	36(+3)	25(±0)	11(+3)

※ ( ) 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成30年度)

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	19(-3)	15(+7)	34(+4)	248,015(-560,454)	10,114(+6,476)	258,129(-553,978)
5	16(+7)	18(+3)	34(+10)	303,227(+107,123)	79,960(+71,171)	383,187(+178,294)
6	22(+4)	11(-9)	33(-5)	340,126(+160,909)	141,937(+76,431)	482,063(+237,340)
7	15(-2)	19(+4)	34(+2)	41,450(-143,425)	212,531(+132,149)	253,981(-11,276)
8	14(+2)	11(+4)	25(+6)	293,507(+268,111)	58,011(+55,002)	351,518(+323,113)
9	16(-3)	14(-2)	30(-5)	909,960(-635,156)	15,997(-50,909)	925,957(-686,065)
10	20(+2)	16(+1)	36(+3)	1,302,856(-229,372)	53,960(-74,012)	1,356,816(-303,384)
小計	122(+7)	104(+8)	226(+15)	3,439,141 (-1,032,264)	527,510 (+216,308)	4,011,651 (-815,956)

※ ( ) 内は、対前年同月比